

陸上競技(知的部門)申し合わせ事項

開催日：令和8年5月23日（土）・24日（日）

会 場：駒沢オリンピック公園総合運動場 陸上競技場

競技規則

本項に定める以外は、令和8年度公益財団法人日本パラスポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」により行う。

競技方法

- (1) トラック種目の計時方法は、写真判定システムによる全自动計時（電気計時）を使用する。
- (2) トラック種目において、選手は主催者側の用意した腰ナンバー標識をつけることとする。
- (3) スターティングブロックは使用しない。
- (4) 50mのスタートはスタンディングスタートのみとし、グラウンドに手をついてスタートしてはならない。
- (5) スタートの合図はイングリッシュコールとする。ただし、50m走、車いす25mは日本語で行う。

※100m、200m、400m、リレー種目は、

ON YOUR MARKS (位置について) ⇒ S E T (用意) ⇒ ピストル合図

※800m、1500mは、

ON YOUR MARKS (位置について) ⇒ ピストル合図

- (6) トラック種目の不正出発は各レースで1回でのみとし、その後に不正出発をした競技者は全て失格とする。
- (7) 50m、100m、200m、400m走はセパレートレーンで行う。800mのスタートは、オープンレーンで行う。
- (8) 車いす競技は、25m走とし、自力走と介助者付き走を設ける。
- (9) 参加者の少ない年齢区分は、他の年齢区分と同じ組で競技をする場合がある。ただし、表彰は年齢区分別に行う。
- (10) トラック競技において、競技進行上統合レースとし実施する場合がある。ただし、表彰については組ごとに行う。
- (11) トラック競技において、以下の制限タイムを設ける。競技中、制限タイムを超えた者は、途中で打ち切る。

※参加資格（制限タイム）

- ・ 400m走 … 2分00秒（2分を超える者はエントリーできない）
- ・ 800m走 … 4分00秒（4分を超える者はエントリーできない）
- ・ 1500m走 … 9分00秒（9分を超える者はエントリーできない）

- (12) トラック競技におけるレーン侵害について、原則として順位に影響を与えた場合において取り上げる。

- (13) 100mスタート付近の破線箇所をテープで実線にする措置をとる。

- (14) フィールド競技の試技は原則として3回とする。ただし、競技進行上事前に通告して、2回に縮小することがある。

- (15) 走幅跳の踏切板の位置については、2m・1m・実測で行うこととする。

※踏切板の位置については申し込みの際に記載すること。また、実測の場合は、全国大会派遣候補選手対象外となる。

- (16) 走高跳のバーの上げ方については審判の判断とする。（原則は5cm刻み）

※最初のバーの高さについては申し込みの際に記載すること。

- (17) スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし走高跳・ジャベリックスローは12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は、11本以内とする。また建物内では、着用しないこと。

- (18) 伴走は、視覚障害の重複等特段の理由がない場合は認めない。

※伴走を付ける場合は申し込みの際に理由を記入し、申請すること。

※助力行為（選手を引っ張る、又は押す等）があった場合は失格になることがある。

※フィニッシュの際、競技者の斜め後ろに位置しなかった場合は失格になることがある。

招集方法

- (1) 招集場所は、100mスタート地点後方のAゲート付近とする。
 - (2) 招集開始時刻は競技開始時刻の30分前、招集完了時刻は競技開始時刻の10分前とする。プログラムを確認し、時間に遅れずに招集を受けること。招集完了時刻に遅れた者は棄権とみなす。
 - (3) 係員から「組、レーン、名前、ナンバー（ゼッケン番号）、所属」が呼ばれるので、返事をし、ユニフォームに付けたナンバーカードを提示すること。
 - (4) 招集時のマスクの着用は、個人の判断に任せるが、できる限り会話は控え、静かに待つこと。
(マスクの処理等は、各自または、チームで責任もって行うこととする。)

ナンバーカード

ナンバーカードは主催者側が用意したもの（ピンク色）をユニフォームの胸部、背部（跳躍競技の選手はどちらか一方）に付けること。

表彰

競技終了後、メインスタンド前の表彰所で行う。各組1位、2位、3位にメダルを授与する。
4位以下には、敢闘賞を授与する。

その他

- (1) 出場種目は1人1種目とする。但し、個人種目に加えてリレー種目に出場することができる。リレーのチームは同じ団体所属の者かつ陸上競技のリレー以外の種目にエントリーしている者で構成すること。
リレーのチーム編成は、男女混合でも可能とする。ただし、男子チームとして出場すること。
 - (2) エントリー後の出場種目の変更は一切行わない。プログラム記載の種目、年齢等に間違いがあった場合は、その旨を事前に主催者（事務局）へ申し出ること。
 - (3) 事前の監督者会議は行わない。その他質問については、その旨を事前に文書（FAX可）にて、主催者（事務局）へ申し出なければならない。
 - (4) 競技中、選手は原則として助力を受けてはならない。ただし、特に介助を必要とする選手及びその団体の責任者は、申し込みの際、主催者（事務局）へ申し出なければならない。
 - (5) 競技場内は、選手、審判、役員、競技補助員を除き、原則として立ち入りは禁止する。ただし、申込時に申請した者とリレー時の介助者（オーダー用紙に記載）で入場を許可された者については認める。競技場内の応援や撮影、許可されない助力はしてはならない。
 - (6) 団体の責任者は、大会当日受付を済ませ、受付横の「欠席届記入所」で当日の欠席者の届けを記入し競技本部に提出すること。リレーの欠場についても必ず欠席の届出をすること。
 - (7) リレーオーダー用紙は、受付で受け取り、出場選手名等を記入の上、5月24日（日）の12時までに大会本部（メインスタンド下）に提出すること。
 - (8) 競技終了後の選手の解散場所は、表彰所付近とする。
 - (9) 記録は正面玄関入口付近に速報板を設置する。
 - (10) スタンド最上部の通路を使ってのウォーミングアップは禁止する。
 - (11) 問題が生じた場合は、各団体の引率責任者が、大会本部まで申し出ること。
 - (12) 競技方法や招集方法、表彰等に変更が生じる場合がある。

【 陸上競技 障害別参加区分 】

※下の表より1人1種目を選択すること（ただし、リレーへの出場はこれに含まない）。

※知的部門 … ◎男・女 各年齢区分

※オープン種目は全国障害者スポーツ大会選考の対象とはならない。